

事務事業名	成人式実施事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費				
事業概要	将来の真岡市の担い手となる新成人をお祝いし、大人としての自覚と青年リーダーとしての意識の高揚並びにふるさと意識の高揚を目的に実施している。式典では、事前に募集してあった感想文を発表する。また、成人者の中学生時の思い出のDVDを上映する。 開催日：1月の成人の日直近の日曜日。 会場：真岡市民会館大ホール							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 対象者への案内状・受付票の送付、感想文募集と審査、記念品・記念誌（中学校3年担任等からの寄稿、感想文、新成人者名簿掲載）配布と記念式典記念撮影、DVD上映。 来賓数を縮小、来賓招待席を壇上から客席に変更。来賓挨拶市議会議員のみ。地元高校生による司会、国歌・市民の歌斉唱、合唱協力。中学時代の恩師からのエール。保護者観覧席を100席設置。 30年度計画 平成29年度と同様。 平成31年1月13日実施予定。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 対象者数</td> <td>人</td> <td>862</td> <td>834</td> <td>839</td> <td>859</td> <td>852</td> </tr> <tr> <td>イ 参加者数</td> <td>人</td> <td>700</td> <td>657</td> <td>650</td> <td>653</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>ウ 保護者数</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>44</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 対象者数	人	862	834	839	859	852	イ 参加者数	人	700	657	650	653	682	ウ 保護者数	人	-	-	-	44	-	エ							オ						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																										
	ア 対象者数	人	862	834	839	859	852																																										
	イ 参加者数	人	700	657	650	653	682																																										
ウ 保護者数	人	-	-	-	44	-																																											
エ																																																	
オ																																																	
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内在住等の新成人。市外転出者の新成人。																																																	
⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 新成人者数</td> <td>人</td> <td>862</td> <td>834</td> <td>839</td> <td>859</td> <td>852</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 新成人者数	人	862	834	839	859	852	イ							ウ							エ							オ							
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
ア 新成人者数	人	862	834	839	859	852																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） お祝いすることにより、大人の自覚とリーダーとしての意識をもってもらう。ふるさと真岡の再認識。																																																	
⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 参加率</td> <td>%</td> <td>81.2</td> <td>78.8</td> <td>77.5</td> <td>76.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 参加率	%	81.2	78.8	77.5	76.0	80.0	イ							ウ							エ							オ							
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
ア 参加率	%	81.2	78.8	77.5	76.0	80.0																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 新成人としての自覚をもってもらう。																																																	
⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 大人としての自覚を持った新成人の割合</td> <td>%</td> <td>81.2</td> <td>78.8</td> <td>77.5</td> <td>76.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 大人としての自覚を持った新成人の割合	%	81.2	78.8	77.5	76.0	80.0	イ							ウ							エ							オ							
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
ア 大人としての自覚を持った新成人の割合	%	81.2	78.8	77.5	76.0	80.0																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
(2) 総事業費の推移																																																	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																								
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																								
			地方債	千円	0	0	0	0	0																																								
			その他	千円	0	0	0	0	0																																								
			一般財源	千円	1,037	1,156	1,178	1,117	1,694																																								
			事業費計(A)	千円	1,037	1,156	1,178	1,117	1,694																																								
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																								
			延べ業務時間	時間	480	480	480	480	480																																								
			人件費計(B)	千円	2,026	2,011	1,993	1,992	1,992																																								
			トータルコスト(A)+(B)	千円	3,063	3,167	3,171	3,109	3,686																																								

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	新成人となったことを祝い、大人になった自覚などを持ってもらう目的で、真岡市が誕生した昭和29年より開催している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成7年をピークに、成人人口は減少しているが、出席率は75パーセント前後で推移している。大人の仲間入りをする成人者が、立派な社会人として成長することを願って、成人式を開催している。式典では、市を挙げてお祝いし、新成人からの感想文の披露や新成人からの「誓いのことば」を宣誓している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	新成人・議会からは、式典は厳粛にでき、新成人を祝うのにふさわしい、とても良い成人式であったとの話があった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 新成人が式典を通じて大人の自覚を持ち、ふるさと真岡の良さを再認識する。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 新成人が将来の真岡市の担い手としてなるよう、市が祝うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 新成人全てが対象であり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 成人者を祝う式典が、厳粛にできている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 成人としての自覚や青年リーダーとしての意識の高揚、ふるさと意識の高揚の場がなくなってしまう。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 案内通知・記念品等、式典に関わる必要最小限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 式典に向けての準備等最小限の人数なので、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市として全ての新成人を対象としており、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							